

2019年2月15日

会社名 株式会社 高島屋
 代表者名 取締役社長 木本 茂
 コード番号 8233
 連絡先 広報・IR室長 園田 早苗
 TEL. 03-3211-4111

2019年1月度 高島屋営業報告

〔売上高 総計〕

(前年比 単位:%)

(株) 高島屋	Δ1.6
---------	------

(株)高島屋 および 国内百貨店子会社	Δ1.6
------------------------	------

〔店舗・事業部別 概況〕

(前年比 単位:%)

	売上高	入店客数		売上高	入店客数
大 阪 店	Δ3.8	+3.8	大 宮 店	+4.7	+5.8
堺 店	Δ11.7	Δ1.9	柏 店	+3.6	+1.2
京 都 店	Δ1.1	+1.3	(株) 高 島 屋 国内百貨店13店舗	Δ2.7	+3.3
泉 北 店	Δ0.5	Δ2.0	岡 山 高 島 屋	Δ0.2	Δ2.6
日 本 橋 店	Δ4.9	+52.1	岐 阜 高 島 屋	Δ5.4	Δ1.3
横 浜 店	Δ1.2	Δ2.1	米 子 高 島 屋	Δ0.8	Δ9.2
港 南 台 店	Δ3.8	Δ3.9	高 崎 高 島 屋	+1.8	Δ7.2
新 宿 店	Δ5.7	Δ0.5	(株)高島屋国内百貨店 および 国内百貨店子会社17店舗	Δ2.5	+2.7
玉 川 店	Δ1.2	Δ0.8	法 人 事 業	+18.6	
立 川 店	Δ13.7	+10.5	クrossメディア事業	+6.6	

※京都店の売上高は「洛西店」を含みます。

横浜店の売上高は「タカシマヤフードメゾン 新横浜店」「タカシマヤ スタイルメゾン海老名店」を含みます。

柏店の売上高は「タカシマヤ フードメゾン おおたかの森店」、岡山店の売上高は「タカシマヤ フードメゾン 岡山店」を含みます。

※日本橋店は昨年9月からレストラン街の運営を子会社に移管したため、それらを調整した実質では前年比Δ2.6%となります。

〔商品別売上高〕

(前年比 単位:%)

	(株)高島屋	(株)高島屋および 国内百貨店子会社		(株)高島屋	(株)高島屋および 国内百貨店子会社		(株)高島屋	(株)高島屋および 国内百貨店子会社
衣料品	Δ 2.4	Δ2.5	食料品	+0.4	+0.3	サービス	Δ14.0	Δ13.9
紳士服・洋品	Δ2.7	Δ2.9	生鮮食品	Δ1.8	Δ2.2	その他	+8.2	+7.2
婦人服・洋品	Δ3.2	Δ3.2	菓 子	+3.3	+3.1			
子供服・洋品	Δ7.9	Δ8.0	惣 菜	Δ0.3	Δ0.2	合 計	Δ1.6	Δ1.6
その他衣料品	+14.5	+13.5	そ の 他	Δ0.8	Δ0.7			
身のまわり品	Δ2.2	Δ2.0	食堂・喫茶	Δ13.7	Δ12.2			
家庭用品	Δ0.1	Δ0.1	雑貨	Δ1.7	Δ1.5			
家 具	Δ5.6	Δ6.7	化粧品	Δ5.4	Δ4.9			
家 電	Δ24.5	Δ24.4	美術・宝飾品・貴金属	+4.4	+4.6			
その他家庭用品	+2.1	+2.3	そ の 他	+1.7	+1.3			

○百貨店は、高額品の売上は堅調に推移したものの、不安定な株式市場の心理的影響に加え、免税売上が客数・単価とも前年を下回ったことなどにより、前年比マイナスとなりました。なお、免税売上は前年比Δ15.1%となりました。

2月度の店頭売上は、14日までの累計が前年比+0.8%、免税売上は同+27.7%で推移しています。

○日本橋店・立川店・堺店・米子店は前年同月比で売場面積が縮小しております。

○日本橋高島屋S.C.の開業（昨年9月25日）効果もあり、日本橋店は入店客数が大きく伸びました。

○法人事業は、大口受注の影響により大きく売上を伸ばしました。